

名前

1. ハブ空港 2. 国際空港 3. 不沈空母 4. 地方空港

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 分国法 4. 公事方御定書

1. ブラジル 2. アメリカ合衆国 3. 日本 4. オーストラリア

1. 広大な国土を活かした資源探掘と、欧米文化の影響を受けた新しい産業の創出により、パソコンやスマートフォンなどの製造に特化した。

2. 世界最大の人口を背景とした豊富な労働力を活用し、高度な工業化を推進した結果、電子機器の分野で世界的な供給源となった。

3. ソビエト連邦の崩壊後、市場経済を導入することで急速に工業化が進み、特に情報通信機器の分野で高い技術力を獲得した。

4. 太平洋沿岸の好立地を活かして加工貿易を推進し、原材料の輸入から製品の輸出までを一貫して行うことで生産シェアを拡大させた。

1. 天皇に仕える役人に対し、政治を行う上での道徳的な心構えを説くため	2. 新しく台頭してきた武士に対して、主君への忠誠や戦いの作法を命じるため	3. 各地の有力な商人に、海外貿易を行う際の具体的な規則を伝えるため	4. 一般の農民に対し、重い税を納める際の心得や労働の義務を説くため
-------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

1. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、
稲の病気が発生しやすいため

2. 標高が高く年間を通じて気温が低い
ため、稲の成長が遅いため

3. 粘土質の土壌で水を通しにくく、
常に湿地状態であるため

4. 火山灰が堆積した層でできており、
極めて水はけが良いため

1. ノルウェーやペルーのような標高の高い地域では、酸素濃度が薄いことを利用して、アルパカなどの家畜に特殊な発酵食品を作らせる文化がある。	2. 北欧のノルウェーでは、地球の自転軸の傾きにより、夏になると高緯度地域で太陽が沈まなくなる「白夜」という現象が起こる。	3. インドにおけるガンジス川での祈りは、熱帯特有の激しい降雨によって頻繁に発生する洪水をおさめるための治水対策として始まったものである。	4. 南米のペルーにあるアンデス山脈周辺は、標高が高く寒冷な環境であるため、現地で飼育されているアルパカの毛を衣類の原料として利用している。
---	---	---	--

1. 飢饉に強い荒れ作物として、全国でサツマイモの栽培を奨励した
2. 物価を抑えるために株仲間を解散させ、物資の流通を自由にした
3. 海外から安い米を輸入するため、長崎での貿易を大幅に拡大した
4. 凶作などの非常時に備え、各地の社倉や義倉に穀物を蓄えさせた

1. 「地租改正」による税制の安定化を待ってから、民間の資本のみによって全線が建設された。
2. 「富国強兵」の一環として、北海道の炭鉱から石炭を輸出港へ運ぶために最初に整備された。
3. 「廃藩置県」に反対する士族の反乱を鎮圧するため、兵士を迅速に輸送することを最大の目的として建設された。
4. 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。

1. 仏教の教えによって国家を鎮め、社会の不安や疫病から国を守ろうとする鎮護国家の思想。

2. 現世の苦しみを逃れ、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰の思想。

3. 政治を批判する勢力を抑えるため、特定の宗派のみを公認して思想を統制しようとする思想。

4. 氏族の祖先を神として祀ることで、豪族たちの結束を強めようとする氏神の思想。

1. 日本国内の賃金が世界で最も低くなったため、アジアから技術を導入する必要が生じたから
2. アジアには日本より賃金の低い国が多く、安価な労働力を活用して生産を行う企業が増えたから
3. アジア諸国の経済成長により賃金が急騰し、日本国内よりも高い利益が見込めるようになったから
4. 北アメリカやヨーロッパへの進出が国際法によって制限され、アジア以外に選択肢がなくなったから

1. インフォームド・コンセント 2. ワーク・ライフ・バランス 3. バリアフリー 4. クーリング・オフ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ハブ空港	ハブ（Hub）とは自転車の車輪の軸を意味します。各地からの航空路線が一点に集まり、そこから再び放射状に目的地へと伸びる様子から、物流や移動の拠点となる空港をこのように呼びます。
問2	答え 3 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は実力で領土を治める必要がありました。そこで、領国支配を安定させるために独自の法規範である分国法を制定しました。これは、大名の権力を強化し、家臣同士の私的な争いを禁じる役割を果たしました。
問3	答え 3 日本	日本は国土面積こそ世界全体で見れば決して大きくありませんが、周囲に多くの島々を持ち、それらを中心として広大な排他的経済水域が設定されています。選択肢にあるアメリカ合衆国、ブラジル、オーストラリアはいずれも日本よりはるかに大きな国土面積を持つ大陸国家であるため、この比率や具体的な面積数値は日本特有のデータと言えます。
問4	答え 2 世界最大の人口を背景とした豊富な労働力を活用し、高度な工業化を推進した結果、電子機器の分野で世界的な供給源となった。	中国は世界最大の人口を抱えており、その豊富な労働力と政府の経済政策によって急速な工業化を成し遂げました。提示された統計値にあるように、2015年時点ではスマートフォンやパソコンなどの多くの工業製品において、世界の生産の大部分を中国が担うようになっています。
問5	答え 1 天皇に仕える役人に対し、政治を行う上での道徳的な心構えを説くため	聖徳太子は、有力な豪族たちが勢力を争っていた当時の状況を改善しようと考えました。そこで、役人（貴族）たちに対し、天皇の命令に従うことや、争いをやめて和を大切にすることなど、官僚としての道徳規範を十七条にわたって示しました。これはのちの中央集権国家の形成に向けた重要な一歩となりました。
問6	答え 4 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。
問7	答え 2 北欧のノルウェーでは、地球の自転軸の傾きにより、夏になると高緯度地域で太陽が沈まなくなる「白夜」という現象が起こる。	白夜は、北極圏や南極圏に近い高緯度地方において、夏至の前後で太陽が地平線の下に沈まない、あるいは沈んでも暗くならない現象を指します。これは地球が公転面に対して傾いた状態で自転しているために生じます。ペルーのアンデス山脈におけるアルパカの利用は、高地の寒冷な気候に対応するための生活の知恵です。インドのガンジス川での行為は、治水対策ではなく宗教的な信仰に基づく伝統的な文化行事としての側面が強いものです。
問8	答え 4 凶作などの非常時に備え、各地の社倉や義倉に穀物を蓄えさせた	松平定信は、米を蓄えさせる「困米」とともに、地方の町村にも「社倉」や「義倉」といった倉庫を設けさせ、穀物を備蓄させることで飢饉への抵抗力を高めようしました。サツマイモの栽培推奨は徳川吉宗による享保の改革、株仲間の解散は水野忠邦による天保の改革の特徴です。定信は、田沼意次が進めた商業重視の政策を改め、質素倹約と農村の立て直しを優先しました。
問9	答え 4 「文明開化」の風潮のなか、欧米の優れた技術を導入して日本の近代化を世界に示す目的があった。	明治政府は、西洋諸国に追いつくための「富国強兵」や「殖産興業」の一環として、交通網の整備を重視しました。イギリス人技師の指導のもとで開通した新橋・横浜間の鉄道は、単なる輸送手段にとどまらず、日本の近代化を象徴する事業として位置づけられていました。これにより、移動時間は大幅に短縮され、人や物の流れが劇的に変化しました。
問10	答え 1 仏教の教えによって国家を鎮め、社会の不安や疫病から国を守ろうとする鎮護国家の思想。	奈良時代には、疫病の流行や政治的な対立が相次いだため、聖武天皇は仏教の力を借りて国の安定を図ろうとしました。これを「鎮護国家」の思想と呼び、仏教に基づく国家体制の整備が進められました。
問11	答え 2 アジアには日本より賃金の低い国が多く、安価な労働力を活用して生産を行う企業が増えたから	21世紀に入り、グローバル化の進展とともに日本の製造業は激しい国際競争に直面している。企業は利益を確保するために、賃金が日本や欧米諸国よりも低いアジア地域へ生産拠点を移し、人件費を抑える戦略をとっている。この結果、アジアへの進出企業数は他の地域を大きく引き離して増加しており、日本の経済活動においてアジア地域とのつながりは極めて重要になっている。
問12	答え 3 バリアフリー	高齢者や障害者にとって社会生活の妨げ（障壁）となる物理的な段差や、制度的・心理的な壁を取り除くことをバリアフリーといいます。問題文にある「車椅子の人が乗りやすいバス（ノンステップバスなど）」の導入は、物理的な障壁を解消する代表的な具体例です。他の選択肢について、インフォームド・コンセントは医療における説明と同意、ワーク・ライフ・バランスは仕事と生活の調和、クーリング・オフは一定期間内の契約解除権を指す用語です。